

「かおりいの手紙 PART2」

木の花ファミリーさま

先日はお世話になりました。暑い日が続きますが、みなさん大丈夫ですか？熱中症には気をつけて下さいね。

昨日、両親に手紙を読みました。両親ともしばらく険しい顔つきで聞いていたのですが、悪い雰囲気にはなりませんでした。「この手紙を聞いたうえで、私に対して思っていることを正直に話してほしい」と両親に伝えたところ、母は、「今まで一人暮らしがしたいと言ったら自由にさせてきたし、期待に応じてほしいと抑圧的にしたことはなかった。結婚についてはもうあきらめている」と少しすねたように話し始めました。でも、そこで父が、「今まで自分が感じてきたことを見つめなおすことができよかったです。結婚についてはあきらめているって言ったらちょっと違うけれど、今さら卒にはまって正社員になって、結婚してほしいという期待はしてないよ。ただ、いい人がいたら結婚したらいいんじゃないかとは思っているけれど」と言うと、母も父の意見に同意していました。

私の受けた印象として、父は正直な意見を出していて特に不満もなく受け入れてくれたように思いました。母は父の意見に同意していたけれど、もやもやした気持ちや不満が表情に出ていたように感じました。でも、私の想いを理解しようとしてくれていてありがたいと思えました。私の中に対立の心がなく、相手を思う気持ちを持ちつつ話し合いができたことで、以前とは違う結果をいただけたのかなと思っています。

正直、木の花にいた時のように生き生きとは生きられないけれど、こういう環境をいただいた中で、どのくらい他の人の事を思い行動できるのかということを楽しみながら、自分の成長に繋げていけたらいいなと思っています。以前と違っていることは、自分を押し殺しての行動ではなく、自分で判断しての行動であって、すこしずつ前に進むことができているということです。素敵なイメージを描きつつ、頑張ります。

では、みなさん。ありがとう。
次に会える日を楽しみにしています。